

(令和3年09月21日)

< ワンポイントレッスン (実践) >
(売買代金回転率)

今年8月末から日本の株式市場は、急ピッチの上昇となり、TOPIXは1989年12月の高値に対する戻り高値更新となりました。この波動の行き過ぎやマーケットの状況を見るためのデータとして、前回は移動平均乖離率、前々回は投資部門別の売買状況についてコメントしましたが、今回は売買代金回転率。売買代金を年換算して時価総額で除したものです。

(売買代金回転率・東証第一部)



All Copyright © ゴールデン・チャート社

暴落時や人気化した局面では取引量が増えるので、時価総額と対比することで行き過ぎを把握します。通常は1.5回を超えてくると反転に要警戒、1.25回を要注意としています。アベノミクスの初期波動では、2.62倍で反転となりました。応用としては、閑散なマーケットから活況なマーケットへの回帰・持続性の確認などです。

(了)